

社会福祉法人 足柄緑の会

令和4年度事業報告

目 次

1	社会福祉法人足柄緑の会	1～4
2	法人利用者状況等	5～11
3	コスモス学園中沼ジョブセンター	12～19
4	コスモス学園中沼ジョブセンター 生産事業部	20～24
5	コスモス学園中沼ケアセンター	25～27
6	居宅介護事業所それいゆ	28～29
7	コスモス学園松田センター	30～36
8	相談支援事業所あすなろ	37～39
9	コスモスホーム	40～44

1. 社会福祉法人足柄緑の会

1. 概況

(1) 新型コロナウイルスの状況

職員、利用者、その家族の発症は、前年度に比べ減少した。しかしながら、行事は縮小され、加えて対外的な交流が全くできなかった。感染症対策は今後も継続する。

(2) 行事

前年度と同様、バス旅行が中止となった。納涼大会と学園祭は、事業所ごとに規模を縮小し、感染症対策を十分考慮のうえ実施した。

2. 理事長の主な行動計画

(1) 理事長の行動

- ・各種会議、ミーティング等により、職員との情報交換を積極的に行った。
- ・毎月発信している理事長通信は、令和5年3月でNO28となった。

(2) 体制の見直し

- ① 総合施設長以下3所長体制が整った。
- ② 「社会福祉法人足柄緑の会未来会議」を発足させ、所長以上7名で法人の将来について意見交換を行った。
- ③ カフェ・デ・ソルを売上不振により閉鎖した。
 - ・9月28日 財産処分 厚生労働省承認
 - ・10月6日 財産処分 神奈川県承認
 - ・11月30日 原状回復工事完了 費用1,188千円
 - ・12月16日 伊豆箱根鉄道㈱との賃貸契約終了
 - ・令和5年2月13日 補助金返還 4,171千円

(3) 設備の老朽化対策

- ・コスモス学園中沼ジョブセンター（以下、「中沼ジョブセンター」という。）生産事業部で、取出機2台更新、成形機1台入替 計5,830千円
- ・コスモスホームで、機械浴設備更新 4,499千円
- ・その他車両入替等を合わせ、総額11,705千円の老朽化対策を講じた。

(4) 不稼働資産対応

特に進展は無かった。

(5) 後継者問題

常に、法人全体の大きな問題として意識をもって行動した。職員教育を始めとし、新規・中途採用、正職員登用等すべてを関連した問題として捉えている。

3. 法人の運営方針

(1) サービスの質の向上

① 就労移行支援・就労継続支援B型

ア 受注・就職状況

・新型コロナウイルスの直接的影響は特に無く、受注は前年度より増加した。しかしながら、公共料金等経費が増加したことにより、中沼ジョブセンター、コスモス学園松田センター（以下、「松田センター」という。）とも工賃は若干下がった。

・中沼ジョブセンター就労継続支援B型から1名就職した。

イ プラスチック成形

・8月、取引先のA社が倒産した。ロス額1,127千円は、次年度清算処理する。

これに替わるB社との直接取引により、現在、売上が月額1,300千円～1,500千円と、従来を上回る取引を継続している。

・12月に、C社向け製品の生産について、破断故障が発生した。

対策として、生産工程の見直しを行った。

② 生活介護

利用者の意思決定に基づいた支援に努めた。いろいろなプログラムを計画し、感染症対策を考慮したうえで実施した。

③ 共同生活援助（グループホーム）

本人の意向を尊重し、自立に向けた支援に取り組んだ。地域の催しは、地域清掃活動以外中止になった。

④ 居宅介護（ヘルパー）

新型コロナウイルスの制約がありながらも、感染症対策を十分取りながら、継続的に実施した。

⑤ 相談支援

電話による相談支援を中心に行った。

(2) 職員の教育・育成

① 人事考課者研修

管理職向けに、人事考課実施前に人事考課者研修を実施した。考課者目線の統一が図られ効果を上げた。

② 職員のメンタルヘルス

正職員全員に対し外部講師を招いて、「職員のメンタルヘルスについて」の研修を実施し、メンタルヘルスチェックにつなげた。

③ 採用活動

・コロナ禍の制約はあったものの、例年通り、学校回り、事業所説明会、そして、求人広告媒体の利用を増やし、採用活動を行った。専門学校での授業の一コマを使った説明会は、初めての試みだった。

・新卒の採用はなかったものの、中途採用として2名の採用があった。

(3) 法人の社会的責任の遂行

- ① 中沼ジョブセンター生産事業部は、昨年に引き続き、2月14日(火)、山北町川村小学校でロケットの組み立て・打ち上げ教室を実施した。これには利用者4名も参加し、地域貢献を果たした。
- ② ISO9001の監査は、特段の問題は無く理事会で報告した。
- ③ KESは環境改善目標をクリアした。
- ④ リスクマネジメント、権利擁護に関する状況等を理事会で報告した。

(4) 地域における公益的な取組

災害対応訓練、権利擁護支援(KWネット)、相談支援ネットワーク等の施設間連携事業へ参加することにより、行政、他の福祉施設、医療機関等と連携、協働を図った。

(5) 法人の法令順守

- ① 幹部職員との定例ミーティングにより、情報の共有化を図り、規程の変更、業務内容の整理を行い、働き方改革に対応した。
- ② プログラムや勤務体制の工夫を図り、サービスの充実に努めた。

(6) 財務安定化

- ① 新型コロナウイルス発症期間中、通所できない利用者に対する在宅支援を行い、収益の確保に努めた。
- ② コスモスホームの機械浴設備は、1,200千円の補助金獲得により更新できた。
- ③ 最低賃金の大幅な上昇等厳しい状況の中、法人全体で経費節減に努めた結果、当期活動増減差額は、前年度よりは減少したものの黒字を確保できた。

4. 理事会・評議員会実施報告

(1) 理事会

令和4年度第1回理事会 令和4年5月27日(金)

- 第1号議案 令和3年度事業報告の承認の件
- 第2号議案 令和3年度計算書類等の承認の件
- 第3号議案 監事選任候補者の推薦の提案の件
- 第4号議案 定時評議員会の招集の件
- 第5号議案 射出成形機の購入の件
- 第6号議案 令和4年度資金運用計画等承認の件

令和4年度第2回理事会 令和4年7月20日(水)

- 第1号議案 運営規程の変更の件
- 第2号議案 令和4年度第1次補正予算承認の件
- 第3号議案 第三者委員の変更の件

令和4年度第3回理事会 令和4年9月27日（火）

- 第1号議案 給与規程の変更の件
- 第2号議案 無期転換職員就業規則の変更の件
- 第3号議案 パートタイム・有期雇用労働者就業規則の変更の件
- 第4号議案 相談支援事業所あすなろの運営規程の変更の件
- 第5号議案 コスモスホームの運営規程の変更の件

令和4年度第4回理事会 令和4年11月21日（月）

- 第1号議案 育児休業・介護休業・子の看護等規則の変更の件
- 第2号議案 居宅介護事業所それいゆの運営規程の変更の件
- 第3号議案 土地賃貸借契約書の変更の件

令和4年度第5回理事会 令和5年1月31日（火）

- 第1号議案 令和4年度第2次補正予算承認の件
- 第2号議案 DDHBOXの設置の件
- 第3号議案 資金運用規程の変更の件
- 第4号議案 令和4年度資金運用計画等の変更の件

令和4年度第6回理事会 令和5年3月28日（火）

- 第1号議案 第3次中期計画承認の件
- 第2号議案 令和5年度事業計画承認の件
- 第3号議案 令和5年度予算承認の件
- 第4号議案 令和5年度資金運用計画承認の件
- 第5号議案 令和5年度役員等賠償責任保険契約の件
- 第6号議案 コスモス学園松田センターの外壁塗装の件
- 第7号議案 マイカー通勤規程の制定の件
- 第8号議案 コスモス学園中沼ジョブセンターの照明器具LED化工事の件

（2）評議員会

定時評議員会 令和4年6月28日（火）

- 第1号議案 令和3年度計算書類等の承認の件
- 第2号議案 監事選任の件

2. 令和4年度法人利用者状況等

(1) 事業所別利用者数

令和5年3月31日付

関係機関		南足柄市			小田原市			秦野市			山北町			開成町			大井町			松田町			箱根町			横須賀市			平塚市			中井町			湯河原町			計		
事業所	障害支援区分	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
中沼J・C就労移行	2			0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	0	0	0			
	3			0	2	2		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		2	0	2				
	4	1	1			0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	1	1				
	区分なし	2	2			0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		2	0	2				
	計	2	1	3	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	5		
中沼J・C就労継続	2		2	2	1		1		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		1	2	3					
	3	3	1	4	3		3	2	1	3	1	1		0	1	1		0		0		0		0		0		0		1	1	1	1	10	4	14				
	4	4	4	8	2	1	3	1	1	2		0	2		2		0		0	1	1	1	1		0		0		0		0		10	7	17					
	5	1	1	2	1	1	2		0		0		0		0		0		0		0		0		1	1		0		0		0		2	3	5				
	6		1	1			0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	1	1			
	区分なし	4	4	3	1	4		0		0	1	1		0	2	2		0		0		0		0		0		0		0		0		10	1	11				
計	12	9	21	10	3	13	3	2	5	1	0	1	3	0	3	0	1	1	2	0	2	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	1	0	1	33	18	51			
中沼J・C日中一時	1			0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	0	0	0			
	2	1		1	2	1	3		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		3	1	4					
	3			0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	0	0				
	4			0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	0	0				
	計	1	0	1	2	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	4			
中沼C・C	3	1		1		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		1	0	1						
	4	1	2	3		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		1	2	3						
	5	3	2	5	2		2	1		1		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		6	2	8						
	6	4	5	9	2	8	10		0	1	1	2		0		0		0		0		0		0		0		0		0		7	14	21						
	計	9	9	18	4	8	12	1	0	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	18	33			
松田C就労継続	1			0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	0	0	0			
	2			0	1	1		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		1	0	1						
	3			0	1	1	3	3		0		0	3	2	5		0		0		0		0		0		0		0		0		7	2	9					
	4			0		3	3	3	3		0	1	1	2	1	1	1		0		0		0		0		0		0		0		5	5	10					
	5			0	2	2		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		2	0	2						
	区分なし			0		0	2	2		0	2	2	1	1	1	1		0		0		0		0		0		0		0		6	0	6						
	計	0	0	0	4	3	7	8	0	8	0	0	3	1	4	5	2	7	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	7	28			
松田C日中一時	2			0	1	1		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		1	0	1						
	3			0		0		0		0		0	1	1		0		0		0		0		0		0		0		0		1	0	1						
	4			0				0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	0	0	0					
	5			0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	0	0	0					
	計	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2				
松田C生活介護	3			0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	0	0	0			
	4			0	1	1	2	1		1		0		0	1	1		0		0		0		0		0		0		0		3	1	4						
	5	1		1	2	2	1		1		0		1	1	1	1	1		1	1	1		0		0		0		0		0		6	1	7					
	6	1	1	2	2	2	4	1	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1		0		0		0		0		0		0		8	5	13						
	計	2	1	3	5	3	8	3	1	4	2	0	2	1	1	2	3	0	3	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	7	24			
コスモスホーム	1			0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	0	0	0			
	2	1		1	1	1		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		2	0	2						
	3	2		2	1	1		1	1		0		0	2	1	3		0		0		0		0		0		0		1	1		0		5	3	8			
	4	1	2	3		0		0		0		1	1		0		0		0		0		1	1		0		0		0		0		1	4	5				
	5	3	2	5		0	1		1		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		4	2	6					
	6	1	2	3		2	2	1		1	1		1	1	1		0		0		0		0		0		0		0		0		4	4	8					
	計	8	6	14	2	2	4	2	1	3	1	0	1	1	1	2	2	1	3	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	16	13	29		
	合計	34	26	60	30	20	50	17	4	21	5	1	6	8	3	11	11	4	15	4	2	6	1	0	1	0	2	2	0	1	1	0	2	2	1	0	1	111	65	176

参考 R3年度合計 33 26 59 29 20 49 18 5 23 5 1 6 7 3 10 11 4 15 3 2 5 1 0 1 0 2 2 0 1 1 0 2 2 1 0 1 108 66 174

(2) 利用者年齢構成状況

令和5年3月31日付

年 齢		18～19 歳	20～24 歳	25～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70歳 以上	合 計	平均年齢
就中 労移 行C	男	1	2				1				4	29.3
	女		1								1	28.2
	計	1	3				1				5	28.8
就中 労継 続C	男	1	1	11	7	10	3	1			34	36.7
	女		2	4	5	2	3		1		17	37.5
	計	1	3	15	12	12	6	1	1		51	37.1
日中 一 時C	男				2				1		3	43.7
	女					1					1	40.0
	計				2	1			1		4	41.9
中 沼 C	男		2		6	6	1				15	37.0
	女			3	9	3	2			1	18	38.5
	計		2	3	15	9	3			1	33	37.8
就 松 田 継 続 C	男		3	3	11	2	1	1			21	34.7
	女		1		3	1	1		1		7	42.4
	計		4	3	14	3	2	1	1		28	38.6
日中 一 時 松 田 C	男			1		1					2	37.0
	女											
	計			1		1					2	37.0
生 活 介 護 松 田 C	男		3	9	4		1				17	29.0
	女		1	3	3						7	28.6
	計		4	12	7		1				24	28.8
											全 平 均	35.7
											男性平均	35.3
											女性平均	35.9

年 齢		18～19 歳	20～24 歳	25～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70歳 以上	合 計	平均年齢
ホ ー ム モ ス	男		1		5	4	2	2	1		15	43.0
	女		1	2	5	2	3		1		14	40.3
	計		2	2	10	6	5	2	2		29	41.7

(3) 医療状況

内科検診

実施日	中沼JC	中沼CC	松田C	合 計
5/9	41	30		71
7/27			46	46
10/31	42	31		73
1/25			39	39
計	83	61	85	229

利用者健康診断(JA)

実施日	中沼JC	中沼CC	松田C	合 計
3/7			44	44
3/13	48	30		78
計	48	30	44	122

歯科検診

実施日	中沼JC	中沼CC	松田C	合 計
7/13			43	43
3/20	42	25		67
計	42	25	43	110

インフルエンザ予防接種(任意)

実施日	中沼JC	中沼CC	松田C	合 計
11/9			40	40
11/10	44	27		71
計	44	27	40	111

(4) コスモス会(自治会)活動状況

項 目	実 施	場 所
自治会役員定例会議	11回/年	中 沼 ジ ョ ブ セ ン タ ー 中 沼 ケ ア セ ン タ ー 松 田 セ ン タ ー 就 労 継 続 支 援 B 型 棟 松 田 セ ン タ ー 生 活 介 護 棟
全 体 会	12回/年	中 沼 ジ ョ ブ セ ン タ ー 中 沼 ケ ア セ ン タ ー 松 田 セ ン タ ー 就 労 継 続 支 援 B 型 棟 松 田 セ ン タ ー 生 活 介 護 棟
献 立 会 議	4回/年	中 沼 ケ ア セ ン タ ー 食 堂 松 田 セ ン タ ー 食 堂
行事準備(買出し等)	中 止	
学 園 行 事 担 当	中 止	

(5) 行事实施状況

実施日	行 事 名	場 所
7/9	納 涼 大 会	中 沼 ジ ョ ブ セ ン タ ー
		中 沼 ケ ア セ ン タ ー
		松田センター就労継続支援B型棟、生活介護棟
9/16	レ ク リ エ ー シ ョ ン	中 沼 ジ ョ ブ セ ン タ ー
		中 沼 ケ ア セ ン タ ー
		松田センター就労継続支援B型棟、生活介護棟
10/1	コスモスホーム利用者バーベキュー食事会	コ ス モ ス ホ ー ム
10/8	コ ス モ ス 学 園 祭	中 沼 ジ ョ ブ セ ン タ ー
		中 沼 ケ ア セ ン タ ー
		松田センター就労継続支援B型棟、生活介護棟
12/10	コスモスホーム利用者忘年会	コ ス モ ス ホ ー ム
12/17	ク リ ス マ ス 会	中 沼 ケ ア セ ン タ ー 2 階
		中 沼 ケ ア セ ン タ ー 1 階
		松田センター就労継続支援B型棟、生活介護棟
2/17	レ ク リ エ ー シ ョ ン	中 沼 ジ ョ ブ セ ン タ ー
		中 沼 ケ ア セ ン タ ー
		松田センター就労継続支援B型棟、生活介護棟

(6) ボランティア状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
中沼JC		2			5				3				10
中沼CC													
松田C													
コスモスホーム													
イベント													
合計人数		2			5				3				10

(7) 防火・防災 訓練実施状況

実施日	訓練内容	事業所	参加人数
5/17	避難訓練 (火災想定)	中沼ジョブセンター 中沼ケアセンター	61
6/21	避難訓練 (火災想定)	松田センター	45
12/17	総合防災訓練	コスモスホーム	14
12/21	避難訓練 (地震+火災想定)	中沼ジョブセンター 中沼ケアセンター	59
3/25	避難訓練 (地震想定)	コスモスホーム	13
3/27	消火訓練	中沼ジョブセンター 中沼ケアセンター	38
合 計			230

(8) 研修・実習等受入状況

実施日	研 修 ・ 実 習 名	人 数
6/13～6/24	小田原養護学校3年生職場実習(中沼ジョブセンター)	1
6/20～6/22	小田原養護学校3年生(校外)実習(松田センター)	1
7/10～7/14	小田原養護学校3年生職場実習(中沼ジョブセンター)	1
7/11～7/15	小田原養護学校3年生職場実習(中沼ジョブセンター)	1
7/14～7/15	小田原養護学校3年生(校外)実習(松田センター)	1
8/3～8/19	鎌倉女子短期大学保育実習(松田センター)	2
10/17～10/28	小田原養護学校3年生職場実習(中沼ジョブセンター)	1
11/7～11/11	小田原養護学校3年生職場実習(中沼ジョブセンター)	1
11/28	小田原養護学校2年生(校外)実習(松田センター)	1
12/26、27	小田原養護学校3年生職場実習(中沼ジョブセンター)	1
R5. 1/16～1/18	小田原養護学校3年生(校外)実習(松田センター)	1
1/30～2/3	小田原養護学校3年生職場実習(中沼ジョブセンター)	1
	合 計	13

(9) 令和4年度職員配置状況

	総合 施設長	所長	部長	サービス管 理責任者	サービス提 供責任者	支援員	相談支援 専門員	ヘルパー	世話人	生産事業部	看護師	事務員	合 計
中沼 JC (生産事業部)		兼務	1	1		13				9			24
中沼 CC		兼務		1		18					1		20
それいゆ		兼務			1			9					10
松田C	1	兼務		1		20					7		29
あすなろ		兼務						1					1
コスモスホーム		兼務		1		5			21		1		28
総 務 部			1									3	4
合 計	1	0	2	4	1	56	0	10	21	9	9	3	116

令和3年度職員配置状況 <比較資料>

	総合 施設長	所長	部長	サービス管 理責任者	サービス提 供責任者	支援員	相談支援 専門員	ヘルパー	世話人	生産事業部	看護師	事務員	合 計
中沼 JC (生産事業部)		兼務	1	1		13				8			23
中沼 CC		兼務		1		18					1		20
それいゆ		兼務			1			9					10
松田C	1	兼務		1		20					7		29
あすなろ		兼務					1						1
コスモスホーム		1		1		4			21		1		28
総 務 部			1									3	4
合 計	1	1	2	4	1	55	1	9	21	8	9	3	115

(10) 令和4年度採用・退職状況

事業所	採用	退職
中沼 JC		
(生産事業部)	1	
中沼 CC	1	1
松 田 C	3	3
コスモスホーム	2	2
あすなろ		
それいゆ		
総 務 部		
合 計	7	6

令和3年度採用・退職状況 <比較資料>

事業所	採用	退職
中沼 JC	1	3
(生産事業部)	1	
中沼 CC		
松田C	4	4
コスモスホーム	3	3
あすなろ		
それいゆ		
総 務 部		
合 計	9	10

(11) 令和4年度 職員研修出席状況

日 時	外 部 研 修	人 数
6/7	神奈川県社協 経営者部会研修会	1名
6/21、6/22	令和4年度相談支援従事者初任者研修・プレ研修	1名
7/22	令和4年度安全運転管理者法定講習	3名
7/27	WEBセミナー 強度行動障害の「予防的支援研修」	1名
7/30	WEBセミナー 自閉症のためのトレーニングセミナーオンライン公開講座 (TEACCHプログラム)	1名
8/4、8/5	WEBセミナー 強度行動障害支援者養成研修【基礎研修】	1名
8/1～8/10	WEBセミナー 全国知的障害関係施設長等会議 テーマ「質の高い障害福祉サービスの提供を目指して」	1名
8/22	令和4年度都道府県経営協セミナー(前期)	1名
9/4、9/17	令和4年度神奈川県委託「介護職員に対する喀痰吸引等研修事業」第3号(特定の者対象)研修	2名
9/13、9/29	令和4年度神奈川県らくらく介護研修 基本:バイオメカニクスに基づく介護者に負担の少ない介助方法 実践:理学療法士と学ぶ移動・移乗介助技術	1名
9/28	WEBセミナー 接遇セミナー ～基礎編～	1名
11/1	WEBセミナー 支援スタッフ部会11月例会「マカトン法の基礎」	1名
12/2	WEBセミナー かながわ災害福祉広域支援ネットワーク令和4年度基礎研修	2名
12/9	WEBセミナー 相談支援事業所障害関連事業所連絡会 テーマ「金銭管理」	1名
R5. 2/2	令和4年度都道府県経営協セミナー(後期)	1名
R5. 2/7	WEBセミナー 苦情解決研修「苦情を前向きに捉え、福祉サービスの質の向上につなげる」	1名
	法 人 研 修	
6/10	・ 職員のメンタルヘルスについて	26名
R5. 2/23	・ 安全運転講習	72名
	・ アンガーマネジメント研修	

3. コスモス学園中沼ジョブセンター

1. 事業内容 就労移行支援

2. 利用者在籍状況 定員 6 名

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
男	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
女	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
計	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
退所							1						1
入所	2												2

3. 平均利用率・累計利用人数

(1) 令和 3 年度 71.9% 1,130 名

(2) 令和 4 年度 67.4% 1,063 名

4 月に就労継続支援 B 型より 2 名が新たに就労移行支援に加わった。12 月に 1 名が就労し、定着支援のため契約を継続した。そのため週 1 日の利用となり利用率は微減となっている。

4. 就労活動

(1) ビジネスマナー

就労経験のないメンバーとなり、座学にて以下の内容に取り組んだ。

- ① 就労に必要な力をつけるため イ、呼ばれたら返事をする。ロ、一生懸命行う。ハ、人に迷惑をかけない。ニ、自分のことは自分で行う。

4 つの項目を日々目標に掲げて取り組んでいる。

- ② 挨拶、返事、身だしなみ、生活リズム、服薬管理、公共交通機関の利用法、携帯電話の使用マナー等重要性を伝えている。

- ③ 日中活動での作業を通じて、ビジネスマナーで学んだことを繰り返し実践した。

(2) 実習支援

D 社の求人に応募し、10/31～11/4 まで雇用前実習を行った。その後 12 月より雇用となる。

(3) 施設外就労

施設外就労先は前年度から引き続き、りんどう会館清掃、E 社、F 社、G 社、H 社の施設外就労を行った。利用者 5 名、延べ 412 人が参加した。一般企業に向き就労の緊張感や立ち振る舞い（マナー）を学んだ。

- ① りんどう会館清掃を月・水・金の週3回行っている。
- ② E社の構内除草作業（窓拭き、ゴミ拾い含む）を請け負い、週2回取り組んでいる。大企業の中で作業を行うことで緊張感もあり、身だしなみや言葉づかいなどマナーの向上にもつながっている。
- ③ 株式会社ヒノデの作業に松田センターと共同で毎日8名～9名が参加している。企業で求められる厳しさを肌で感じ、言葉づかいや相手への思いやり、納期に間に合わせなければいけない責任感を養うことができた。
- ④ G社の育樹作業（いのちの森プロジェクト）を月4回（1月～3月は除く）行っている。
- ⑤ H社に2名の利用者が交替で毎日出勤（9：00～16：00）し、工場内でのトレイ剥がし作業を行った。

（4）求職活動支援

- ① ハローワーク松田と連携し、定期的な情報交換と職場開拓を行った。
- ② 求職登録者が自分でハローワークにて求人検索ができるよう支援した。
- ③ 就労支援センターぽけっとと連携し就労支援を行った。

（5）フォローアップ支援

4名の職場支援を行っている。職場環境の変化により不安要素があったが、人事担当者や現場担当者と話し合い環境改善を図り就労継続ができた。

5. 就労移行実績

令和4年度就職者数1名 D社：清掃

Mさん女性（24歳）ハローワーク松田より求人の紹介をいただき、障害者雇用に不安を感じている事業所であったため、仕事の切り出し、従業員への受け入れ環境等をサポートし雇用契約につながった。

コスモス学園中沼ジョブセンター

1. 事業内容 就労継続支援 B 型

2. 利用者在籍状況 定員 34 名

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
男	30	30	31	31	31	31	31	31	31	32	32	33	374
女	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
計	48	48	49	49	49	49	49	49	49	50	50	51	590
退所													0
入所			1							1		1	3

3. 平均利用率・累計利用人数

(1) 令和 3 年度 112.7% 10,332 名

(2) 令和 4 年度 110.4% 10,159 名

令和 4 年度は、就労者 2 名が抜け、入所者 0 名でスタートしたが、6 月、1 月、3 月に 1 名ずつ入所者が増えたことで利用率は微減で留まっている。

4. 工賃実績

		上半期							下半期							年間合計
月		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計	
工賃支払対象者数		37	37	36	37	37	37	221	37	38	38	38	39	39	229	450
工賃支払総額		657,897	639,437	660,167	639,107	636,947	627,697	3,861,252	666,457	697,667	635,747	642,367	654,037	742,897	4,039,172	7,900,424
延べ勤務時間数		2,923.0	2,889.7	2,919.6	2,830.5	2,874.9	2,812.0	17,250	2,923.0	2,975.4	2,846.2	2,633.4	2,753.4	3,244.8	17,376	34,626
平均工賃	時間額	225	221	226	226	222	223	224	228	234	223	244	238	229	232	228
(円)	月額	17,781	17,282	18,338	17,273	17,215	16,965	17,472	18,012	18,360	16,730	16,904	16,770	19,049	17,638	17,556

(1) 令和 4 年度平均工賃月額 17,556 円 (前年度 17,426 円)

(2) 令和 4 年度平均工賃時給 228 円 (前年度 231 円)

新たに、I 社、J 社との新規取引が増えた。また、一昨年度から始まった K 社との取引は受注量が倍増した。H 社と 11 月に施設外就労契約を結び、利用者 2 名が参加した。工賃支払い対象者が 3 名減り、支払総額は減額となったが、平均工賃月額の前年度より 130 円/月 UP できた。

5. 日中活動

(1) 奉仕活動

新型コロナウイルスの影響で、外出や交流イベント等も全て中止となり、近隣地域の清掃活動等も自粛していたため、活動実績はなかった。

(2) 廃品回収

- ① 段ボール、古新聞の回収を行い、毎週火曜日に松田センターに届けた。
- ② 各家庭から持ち寄ったアルミ缶は随時、コスモス学園中沼ケアセンター（以下、「中沼ケアセンター」という。）に届けた。

(3) 健康管理

身体機能の低下が著しい利用者が増え、日々のバイタルチェックは必須の状態となっている。また、食事形態の変更を余儀なくされる利用者も目立ってきている。

- ① てんかん発作を記録し、通院時の情報提供を行った。
- ② 個々の利用者健康診断結果をもとに、血圧、体重、サチュレーションの測定を導入した。
- ③ 朝の作業開始前にはラジオ体操を作業室ごとに実施し健康の維持に努めた。
- ④ 新型コロナウイルス感染予防として、出入口でのアルコール消毒、バイタルチェック、密を避けるための時間差対応などに取り組んだ。

(4) フリープログラム

太極拳プログラムは新型コロナウイルス感染予防のため実施できなかった。昼休みはカラオケ、カードゲーム（トランプ、UNO）などで楽しむグループが増えた。

(5) 地域交流

- ① 令和5年2月に、山北町立川村小学校6年生を対象に、モデルロケット教室を開催した。
- ② 郵便局員がボランティアとして3回/年、作業ボランティアとして利用者と一緒に作業を行った。

6. 就労活動

(1) プラスチック製品の検査・計量・箱詰め・伝票作成・束ね

新型コロナウイルスの影響は最小限に留めることができ、利用者作業に大きな影響はなかった。梱包・計量作業に携われる利用者を増やすことができた。

(2) 清掃活動

清掃作業を得意とする利用者を1名増やすことができた。清掃メンバーが増えたことで、利用者の負担も軽減でき、工賃向上にもつながっている。トイレ清掃技術の向上により、学園トイレの清潔保持につながっている。

(3) 受注作業

全ての利用者が作業を通じて日々の充実につながるよう、幅広い作業種を用意した。新規受注では、I社、J社が新規取引に加わり収益増につながっている。

① 株式会社ヒノデ

取引3年が経過し、法人全体で年間約300万円分の仕事を発注していただいている。その功績が認められ、令和5年2月に神奈川県知事より「工賃向上に貢献した企業」として表彰されている。

② L社

落花生袋詰め作業を受注し、1,000～1,500袋/週を出荷している。専用計量機を第一作業室に設置し、計量、シーラー、検品、梱包を3名の利用者が担当し取り組んだ。また、食品シール貼りを2階作業室にて行い、事業所内で連携しながら短納期の受注に対応した。

③ M社

ボトルへのシール貼り作業に関しては終了し、手張りのシール貼りを継続して取り組んでいる。

④ N社

近隣の事業所に作業を発注することで、作業の効率化、管理面の向上が図れた。

⑤ O社

竹籠容器の検品、シール貼り、ギフト箱折、星型ビニールセット作業を行っている。

⑥ 株式会社あおぞらポスト

南足柄市広報「きんたろう便」の丁合作業の他、通常のポスティングチラシの丁合を受注することができた。

⑦ K社

アマゾンセット作業を行っている。注文書の指示に従ってセットを作り、アマゾン専用のバーコードシールを貼るまでの工程を利用者主導で進められるようになった。

⑧ I社

ご当地限定のサンリオ商品のセット作業を受注できた。

⑨ J社

教材印刷物の丁合作業を、神奈川県共同受注窓口より紹介を受けて取引を開始している。

⑩ 神奈川県共同受注窓口

神奈川県共同受注窓口より、研磨、シール貼り等の軽作業を受注し、県西地域のハブ施設として受注管理を行いながら新規案件に対応した。

(4) 施設外就労

施設外就労先は、りんどう会館清掃、E社、株式会社ヒノデ、G式に加え、H社が新たに加わり、施設外就労先が5社に増えた。参加利用者20名、延べ1,736人が参加した。工賃向上につながると同時に、施設外に出ることが施設内の利用者の目標になっている。

- ① りんどう会館清掃を月・水・金の週3回行っている。
- ② E社の構内除草作業（窓拭き、ゴミ拾い含む）を請け負い、週に2回取り組んでいる。大企業の中で作業を行うことにより緊張感もあり、身だしなみや言葉づかいなどマナーの向上にもつながっている。
- ③ 株式会社ヒノデの作業に松田センターと共同で毎日8名～9名が参加している。企業で求められる厳しさを肌で感じ、言葉づかいや相手への思いやり、納期に間に合わせなければいけない責任感を養うことができた。
- ④ G社の育樹作業（いのちの森プロジェクト）を月4回行っている（1月～3月を除く）。
- ⑤ 南足柄市から依頼され医療証、がん検診チケットの封入作業を行っている。
- ⑥ 中谷産業株式会社にて、トレイ剥がし作業を行っている。

(5) 就労支援

① Q社：清掃

Kさん女性（21歳） 就労支援センターぽけっとからの紹介で雇用前実習に取り組んだ。

雇用前実習期間：令和5年1月16日～1月27日（10日間）

結果：不採用

② H社：工場作業

Oさん男性（27歳）取引先であるH社より障害者雇用の相談を受け、環境面、対応面から取り組める施設外就労を提案し、将来的に障害者雇用につながるよう支援を継続している。

施設外就労：11月1日～ 令和5年3月31日現在継続中

7. 余暇活動（共通）

新型コロナウイルス感染予防のため、予定されていた行事は縮小して開催した。他施設との親睦機会となる「みんなのつどい」、「県西地区文化事業」も中止となっている。

(1) 納涼大会

7月9日（土）を予定していたが、新型コロナウイルス感染予防のため、事業所内での縮小開催となった。模擬店では射的、カキ氷、焼き鳥など店舗数を増やして楽しいひと時となった。

(2) 学園祭

10月8日(土)に予定していたが、新型コロナウイルス感染予防のため、事業所内での縮小開催となった。制作活動では、ペーパークイリングを用いて、利用者全員が参加し、秋をイメージした「動物たちの秋祭り」～くるくるアート～を制作した。

(3) バス研修旅行

11月18日(金)に予定していたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止となり、通常作業を行った。

(4) クリスマス会

12月16日(金)に開催した。利用者カラオケ、出し物、職員からのレクリエーションゲームで盛り上がった。

(5) レクリエーション

9月16日(金)、2月17日(金)の2回開催した。1回目は「卓球大会」「ババ抜き大会」「オセロ大会」を行い、2回目は大雄山最乗寺に初詣外出を行った。

(6) クラブ活動

新型コロナウイルス感染予防のため、中沼ケアセンターとの合同クラブ活動は行わず、中沼ジョブセンター内で音楽クラブ、卓球クラブ、ドライブクラブ、映画クラブに分かれて毎月行った。

8. 職員研修(共通)

(1) 先進的な施設における現場研修は、新型コロナウイルス感染予防のため実施しなかった。

(2) 今年度は新人職員がいなかったため新人研修は行わなかった。

(3) 法人内研修

① 6月10日(金) 正職員対象にメンタルヘルス研修を行った。

③ 2月23日(金) 全職員を対象に午前の部では、安全運転講習を行い、午後の部では、アンガーマネジメント研修を行った。

9. 事業所運営(共通)

(1) 障害特性、人権擁護、虐待防止等の研修を行った。

(2) 虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会により、自己チェックリスト、メンタルチェックリスト、職場環境・業務に関するアンケートを実施し、虐待防止・人権擁護の徹底を図った。

(3) 防犯、防災対策として災害時事業継続計画(BCP)を更新し、有事の際の対応を周知した。

(4) 報酬改定におけるコンプライアンスを確認し、法令の遵守に努めた。

(5) 火災・地震を想定した避難訓練を実施した。

(6) 12月24日(木) 正職員対象に誤薬防止研修を行った。

(7) 3月23日(木) 正職員対象に、声かけ研修を行った。

10. 地域活動(公益活動、共通)

開催日	行事名	場所
5月	みんなのつどい(中止)	小田原アリーナ
7月	納涼大会(縮小開催)	中沼ジョブセンター
10月	学園祭(縮小開催)	中沼ジョブセンター
12月	県西地区障害者文化事業(中止)	川東タウンセンターマロニエ

11. 支援他

- (1) 個別支援計画面談を10月、3月に実施した。
- (2) 中沼ジョブセンター会議を毎月1回開催した。
- (3) 工賃会議を8月、2月に実施した。
- (4) 利用者健診
 - ・ 健康診断を年1回実施した。
 - ・ 内科健診を年2回実施した。
 - ・ 歯科検診を年1回実施した。
 - ・ インフルエンザ予防接種を11月に実施した。

4. コスモス学園中沼ジョブセンター

1. 事業内容 生産事業部 就労支援事業

2. 目標達成の手段・具体的方策

資料1 生産事業部売上の推移と年度別トピックス

資料2 生産事業部主要取引先別売上推移

(1) 令和3年度比102%以上の売上を目指す。

新型コロナウイルス感染拡大、世界的な資材の不足により、各取引先からの受注量、受注品目にかつて無い変化が予想される。これらに対応し将来に向けて事業を安定的に継続させるため下記方策を実施することにより令和4年度の目標を達成する。

前年度比112%の売上であった。

【令和4年度総括】

8月にA社の突然の倒産により、一時は売上の大幅な落ち込みが予測された。しかし、元請け企業（B社・R社）に対して既存の受注製品の継続生産を要請し、B社向け製品に関しては直接受注、R社向け製品に関してはS社経由での生産継続が実現した。同時に納入単価の見直し(値上げ)も行った。その結果9月以降は、ほぼ前年同月を超える売上を達成することができた。

B社に関しては、いすゞトラックの新型車向けの新規受注も獲得した。

下期は急激な受注品目の増加と顧客からの突発的な代替生産要求に応えるため、所属職員には大きな作業負担が生じた。これに対し全員一丸となって対応し結果として当初の売上目標を大幅に上まわる結果を残すことができた。

① 既存顧客からの受注製品増加

ア C社 … 自動車電池部門・産業用電池部門

※協力企業を経由した受注含む

下期よりU社経由にて受注した産業用電池向け部品の本格量産が開始された。

C社向け製品は、価格設定を変動の大きい樹脂価格を4半期ごと製品単価に反映させる仕組みを導入したことにより、一定の利益を確保することができた。

イ S社 … 医療系部品・自動車部品

A社経由で受注していたR社向け自動車部品、セキュリティー製品は同社の倒産により、S社経由の商流に変更となった。合せて納入単価の見直しを実施した。増加した売上の約45%はA社からの移管によるものである。

ウ V社 … 新規エンドユーザーの開拓

通年を通して新規受注案件があった。(医療向け製品、畜産関係製品) 令和5

年度に具体化する見込みである。

エ A社 … いすゞトラック向け製品の受注品目増加

8月の倒産により、いすゞトラック向け製品の受注は元請けであるB社との直接取引となった。A社受注品の移管及び新型車向け部品の新規受注により売上が大幅に増加した。

【参考】

※令和3年度 A社売上…約1,240万円

令和4年度 B社売上…約1,140万円（8月より）

オ W社 … モデルロケット部品の受注拡大

モデルロケット打ち上げが全国で開催されるようになり需要が拡大した。これにより令和3年度比138%の売上があった。

② 営業力の強化・新規顧客の開拓

ア 社会福祉法人と親和性の高い業種への営業活動（例）玩具系、医療系

既存顧客から通年コンスタントに新規案件があった。令和5年度受注実現を目指し引き続き営業活動を行っている。

イ 技術力を高め小ロット多品種受注に対応させる。

いすゞトラック向け製品の新規受注が他社生産の移管も含め約20製品あった。試作時に発生した課題(量産性、品質安定性)を解決し全て受注に成功している。

③ 成形機稼働の効率化による生産能力向上

ア 工場稼働時間内での稼働率向上に向けて効率的な生産計画を作成する。

4月に自動取出機（2台）の更新、7月に中古自動取出機（1台）の入替により、時間当たりの生産数を大幅に増加させた。

イ 利益率向上のため、無人稼働時間延長、製品検査・仮梱包・二次加工の自動化を進める。

更新した自動取出機の新機能により、従来手作業で行っていた2次加工の自動化を複数製品に導入した。この自動化により加工精度が向上し製品検査も簡略化できた。

④ プラスチック成形品の製造+組立の受注等シームレスな営業活動を行う。

主にいすゞトラック向け製品において、成形後に金属備品等の組み立て品で納入する製品を複数受注している。組み立ては法人内の利用者作業、秦野市内の福祉施設(就労継続支援B型事業所)にて対応している。

⑤ 一般企業が求められる社会的責任に準ずる（サプライチェーンの一員としての意識、法令遵守、環境配慮）ことで顧客から信頼できる取引先としての地位を確立する。

品質マネジメントシステム(ISO9001)、環境マネジメントシステム(KESステップ1)の外部機関による定期審査は、改善が必要な指摘はなく効果的な運用が認め

られた。この結果は顧客からの要求に応じ開示している。

(2) 組織体制の強化を図る

① 人材の雇用・育成をする。

ア 将来のプラスチック成形工場を担える人材の育成

イ 成形オペレーターの確保

A社倒産に端を発した対応を優先したため実施を見送った。

② プラスチック分科会を中心に今後の長期事業計画について継続的に検討する。

ア 金融機関等の外部コンサルティングによる専門的なアドバイスを受ける。

さがみ信用金庫との定期的な打ち合わせを継続して行った。同信用金庫の紹介により、6月に「省エネお助け隊」による中沼ジョブセンターの省エネ診断を受けた。主に使用電力削減のアドバイスを受けた。

③ プラスチック成形付帯作業の効率化を計る。

ア 現状職員が実施している作業を利用者作業として移管する。

製品検査・梱包・納品準備

B社向け製品の2次加工を主に利用者作業に取り入れている。

イ 治具・補助具の開発

成形品の2次加工用治具を複数開発し顧客の評価を高めた。

④ 生産活動のデータ管理（稼働率・良品率等）を行う。

新規受注・生産・在庫・出荷管理ソフトの稼働

新規受注品の見積をデータベース化し見積精度の向上と迅速な見積提出が可能となった。

⑤ 職員教育の実施

ア 品質管理教育

イ 内部監査員の監査スキル向上

ウ 防災・安全教育

エ 成形技術者のレベルアップ教育

新規受注品を対象に適時品質教育を実施した。安全に関してはポスター等関係箇所に掲示するとともに朝のミーティング等を利用し啓発活動を続けた。

(3) 適切な設備投資、修繕を行う

① 設備投資計画

ア 生産設備の長期的な更新計画を検討する。

3月にX社より、中古の電動180ton成形機払い下げの打診があり、5月に油圧150ton成形機を売却し入れ替えている。

イ 製品品質向上 … 検査器具の充実

ウ 原材料・製品・金型保管設備の充実

エ 成形機稼働時間延長 … 自動化設備

オ 検査体制の整備 … 検査場所の整備

ア～オに関しては、主にプラスチック分科会、将来検討会を通じて課題の解決・設備の導入（計画も含む）検討を行った。

② 定期修繕が必要な設備

ア エアコンプレッサーのメンテナンス、クレーンの定期点検

イ 成形機・付帯設備のメンテナンス

定期点検、メンテナンスを実施した結果、生産に影響をおよぼす故障はなかった。

落雷、停電による成形機電子部品故障（1台）…保険で対応

油圧成形機（1台）のコントローラー内部部品点検・交換

③ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の推進

不稼働金型の返却、治具置場の見直し、定期清掃を実施した。

④ 老朽化した自動取出機の更新（2台）

4月に2台（新品）更新、7月に1台（中古機）入替をした。

（4）品質管理体制の強化

① ISO9001の効果的な運用を進める

ア 内部監査員の監査スキルの向上

イ ISO推進委員会議の定期的な実施

ウ 内部監査技術研修の実施

② 部署職員への品質研修を実施する。

③ 成形品の測定データを分析し、安定生産に役立てる。

④ 既存作業の工程改善と品質向上を図る。

ア 更新する自動取出機の新機能を活用し品質検査の自動化、省力化を推進させる。

イ 製品識別・製品管理方法の改善

①～④に関しては、1月30日(月)に外部機関による定期審査を受けている。品質管理が効果的に運用されていることが認められた。

（5）資格・免許の取得（作業に従事する者が対象）

① フォークリフト技能講習

② クレーン安全衛生特別教育

③ 玉かけ技能講習

④ プラスチック成形(射出成形作業)技能士資格他

①～④に関しては、該当者がいなかったため実施せず。

(6) 令和4年度重点取組事項

① 新型コロナウイルス感染拡大後の市場変化を好機と捉え従来とは別の分野からの受注拡大を図る。

ア 医療系部品の受注拡大

イ ベンチャー系企業からの新製品部品受注等

A社の倒産対応を優先させたため、具体的な受注には至っていないが、令和5年度内での実現に向けた新規案件は複数あった。

② 利益率の向上を図る

ア 工程自動化による製造コストの削減

イ 高い品質、生産技術向上・積極的な提案により同業他社との差別化により有利な条件で受注を獲得する。

更新した取出機の新機能の活用をはじめ、新規受注品のスムーズな量産移行、品質不具合の少なさ等他社との差別化を積極的にアピールすることで、顧客の信頼を得られ複数の新規受注につながった。

3. 令和4年度の特記事項

- (1) 自動取出機の更新(2台)、中古自動取出機の入替(1台)、油圧成形機から電動成形機へ入替(1台)により年間の電力消費量を約13%(売上増加を反映させると約23%)低下させることができた。
- (2) 12月にC社向け製品の破損不具合クレームが発生している。外部分析機関を利用し原因の究明にあたったが原因の断定には至らなかった。再発防止のため製造工程の見直しを実施した結果、以後同様のクレームは発生していない。
- (3) 令和3年度に実施した地元小学校の6年生を対象にした卒業記念イベントは、令和4年度の6年生にも実施して欲しいと依頼を受けた。2月に法人主催の行事として中沼ジョブセンター利用者もボランティアとして参加し、昨年同様心に残るイベントとして、学校の先生や保護者から高く評価された。(詳細は法人の広報誌に記載)
- (4) A社倒産による、回収不可能になった売掛金は約112万円となった。

5. コスモス学園中沼ケアセンター

1. 事業内容 生活介護
2. 利用者在籍状況 定員27名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192
女	18	18	18	18	18	17	17	17	17	17	17	17	209
計	34	34	34	34	34	33	33	33	33	33	33	33	401
退所					1								1
入所													

3. 平均利用率・累計利用人数

- (1) 令和3年度 113.2% 8,005名
(2) 令和4年度 109.7% 7,790名

4. 地域行事

開催日	行事名	場所
11月5日	日向公民館祭り	日向公民館

※ 新型コロナウイルスの影響でその他行事は中止

5. 日中活動

(1) スノーズレン

落ち着いた雰囲気の中での活動なので、職員と話をしたい方やゆっくりと過ごしたい方が好んで参加している。利用者が横になって休む際には、間をあけ密にならないように対応した。

(2) 運動・ストレッチ

運動の流れは利用者にも浸透しており、新しい音楽を取り入れて体を動かす機会を提供できている。また、運動後はクールダウンとしてストレッチも行っている。運動後に余暇を取り入れ、より利用者が楽しめるようにした。

(3) 音楽・カラオケ

選曲できる方については、好きな曲を選んで歌うことでリフレッシュしている様子がうかがえる。選曲が難しい方については、職員が利用者の好きな曲を選曲することで表情良く過ごせている。マイクの消毒は継続して行っている。

(4) DVD鑑賞

ゆっくりと過ごす日課として取り入れており、利用者は集中して鑑賞してい

る。また、リクエストを聞くことで、見たい DVD を見られるようにしている。インターネットで動画を見られるようにしたことで利用者の好みに合わせやすくなった。

(5) 外出活動

公園までドライブし、そこで散歩をすることで歩行時間の確保、気分転換を図っている。行ける公園のレパトリーを増やした。

(6) アニマルセラピー

新型コロナウイルスの影響で今年度は行えなかった。

(7) 伝統芸能

新型コロナウイルスの影響で今年度は行えなかった。

(9) アロマセラピー

新型コロナウイルスの影響で今年度は行えなかった。

(10) 地域交流

日向公民館祭りに出展したのみで、コスモス学園の認知度を上げる活動がほぼできなかった。

(11) 全般

新型コロナウイルスの影響で余暇の幅を広げることではできなかったが、利用者個々の希望に沿った活動への参加に焦点を当て取り組んだ。

6. 就労活動

(1) 制作活動

季節に応じた制作を今年度も行い、これまで以上に頻度を上げて取り組むことができた。今年度も自主生産品の販売機会が限られてしまったため、制作を行う時間が多かった。

(2) リサイクル作業

アルミ缶回収については地域の方の協力もあり、継続して行えている。また、アルミ缶の分別についても利用者が携わる機会が増えた。

7. 余暇活動

(1) バス旅行

今年度も新型コロナウイルスの影響で中止となった。

(2) クラブ活動

今年度も密を避けるため中沼ケアセンター単独で行った。調理クラブは今年度も行えなかった。

8. 職員研修

- (1) 正職員は年間1人2回以上研修を受講できた。また、それを中沼ケアセンター会議において報告することで全体の支援に対する底上げにつながった。
- (2) 6月10日(金)正職員を対象に「職員のメンタルヘルスについて」の研修を行った。
- (3) 2月23日(金)全職員を対象に研修を行った。午前の部では安全運転講習、午後の部では、アンガーマネジメント研修を行った。

9. 事業所運営

- (1) 利用者の意思に則った支援を全体で心がけ、それを実行できるように取り組んできた。引き続き研修への参加や全体への周知を通じて利用者の意思決定を進めていく。
- (2) 虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会により、自己チェックリスト、メンタルチェックリスト、職場環境・業務に関するアンケートを実施し、虐待防止・人権擁護の徹底を図った。
- (3) 防犯、防災対策として災害時事業継続計画(BCP)を更新し、有事の際の対応を周知した。

10. 支援他

新型コロナウイルスの影響もあり余暇活動の拡充には至らなかったが、細かな点で改良を施し利用者の満足度を上げる取り組みをした。8月に利用者が1名退所され、利用率が下がっているため、次年度は新しい利用者を迎え入れられるよう準備をする。

6. 居宅介護事業所それいゆ

1. 事業内容 居宅介護・重度訪問介護

2. それいゆ利用時間・累計利用人数

(1) 令和3年度	5, 890. 75時間	6, 452名
(2) 令和4年度	6, 022. 50時間	6, 600名

3. 支援内容別利用時

(1) 令和3年度

① 身体	5, 474. 00時間
② 家事	279. 75時間
③ 移動	65. 50時間
④ 通院	71. 50時間
総利用時間数	5, 890. 75時間

(2) 令和4年度

① 身体	5, 597. 50時間
② 家事	234. 50時間
③ 移動	112. 50時間
④ 通院	78. 00時間
総利用時間数	6, 022. 50時間

総利用時間数は、前年度より131. 75時間の増であった。身体介護、移動支援の利用が増えた。

4. ヘルパー業務

(1) 日常生活支援

前年度同様、新型コロナウイルス蔓延の中、感染防止策を徹底し対応にあたった。利用者の介助方法など特性を踏まえた職員のスキルアップにつなげられるよう取り組んだ。

(2) 適切なサービス提供

適切なサービス提供を行うため、相談支援事業所との情報共有を図り、計画書に基づいたサービス提供につなげられた。

(3) 人権擁護

ミーティングにおいて、人権擁護についての話し合いの時間を前年度より多く取り、個々の意識を高められるようにした。

(4) 地域連携

- ① 新型コロナウイルスの影響から相談支援事業所とは、前期は担当者会議ができない状況であったため電話等で情報交換を行い、後期は対面での担当者会議を行い情報交換により地域連携に努めた。
- ② 県西地区あんしんヘルパーネット会議は新型コロナウイルスの影響もあり開催されなかった。

(5) 守秘義務の徹底

個人情報ヘルパー同士で共有することが多いことから、情報漏洩がないよう随時ミーティングや個別にて周知し徹底を図った。

5. 職員研修

- (1) 6月10日(金) 正職員を対象に「職員のメンタルヘルスについて」の研修を行った。
- (2) 2月23日(金) 全職員を対象に研修を行った。午前の部では安全運転講習、午後の部では、アングーマネジメント研修を行った。
- (3) 外部の対面での研修を1回、Zoom研修を2回受講できた。今後もスキルアップを図れるよう積極的に参加する。

6. 事業所運営

- (1) 法人内各事業所との連携により、サービス提供をすることができ、支援、協力体制の強化につながれた。サービス提供は行ったが、女性職員不足のため、給付費の受給につながらないことがあった。
- (2) 虐待防止チェックリストを活用し、話しにくい内容でも個々にて話をし、支援強化を図った。
- (3) 虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会により、自己チェックリスト、メンタルチェックリスト、職場環境・業務に関するアンケートを実施し、虐待防止・人権擁護の徹底を図った。
- (4) 防犯、防災対策として災害時事業継続計画(BCP)を更新し、有事の際の対応を周知した。

7. コスモス学園松田センター

1. 事業内容 生活介護
2. 利用者在籍状況 定員18名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	17	17	17	17	17	16	16	17	17	17	17	17	202
女	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
計	24	24	24	24	24	23	23	24	24	24	24	24	286
退所						1							1
入所								1					1

3. 平均利用率・累計利用人数

- (1) 令和3年度 105.5% 4,977名
(2) 令和4年度 98.8% 4,678名

4. 地域行事

新型コロナウイルスの影響で地域行事はすべて中止のため参加はなかった。

5. 日中活動

(1) スヌーズレン

プロジェクターや光ファイバー、お香、オルゴールサウンドを使用し、リラックスした環境を設定できた。

(2) 運動

利用者個々の状況に合わせてプログラムを設定し、密にならないように少人数で行う環境を設定した。マットを使用したストレッチ、ロング歩行、YouTubeを見ながらの体操など楽しく継続して取り組めた。

(3) 音楽ゲーム・カラオケ

カラオケは午後のプログラムに行い、参加した利用者は曲に合わせて体を動かし、聞いたり楽しく参加できていた。利用者が選んだ曲に合わせて、手を叩いたり、楽器を演奏するなど、様々な利用者が楽しめた。

(4) DVD鑑賞

利用者が自己選択したDVDやYouTubeをニーズ別に上映し、密にならないように3か所に分かれて行った。自己選択をすることで、みんなで楽しくDVD鑑賞できていた。

(5) 外出活動

車の台数を増やして少人数で取り組んだ。新型コロナウイルス感染予防のため、車内は換気をし、商業施設には行かずに公園など人が少ない場所に行った。

(6) 奉仕活動

月2回実施している。松田センター周辺の公園やパークゴルフ場、川沿いで美化活動（ごみ拾い）を少人数に分かれて行った。利用者から挨拶をし、地域の方と話す場面もあった。

(7) 足湯

11月～2月に実施している。入浴剤を入れ、足をマッサージすることで利用者全員がリラックスして参加できていた。足元の血行促進にもつながった。

(8) 地域ボランティアとの交流

新型コロナウイルスの影響で今年度は実施しなかった。

(9) 法人内他事業所との交流

新型コロナウイルスの影響で今年度は実施しなかった。

(10) 日中活動全般

月1回の医療ケア会議はサービス管理責任者、看護師等が参加し情報共有ができた。看護師の出勤日数を多くして医療対応利用者の利用日数を増やすことができた。

6. 就労活動

(1) 制作活動

利用者個々にスタンプや画用紙の色を選んで作成できていた。少人数で行い、1つの作品に時間をかけて完成まで作成することができた。

(2) コピー機部品の分解（リサイクル）・検査

作業工程を増やし、複数の利用者が作業を行うことができていた。全体的に集中できる時間も長くなった。

(3) 重機部品の組付け・検査

組付け作業の希望者が多く、様々な利用者が取り組めていた。細かい作業で指先を使う工程が多いが、集中して行えていた。

(4) その他

就労継続支援B型と連携して内職作業（コア材詰め、トッテ束ね、バンド作業）をたくさんの利用者が集中して取り組めた。

今年度はちいきふくし博が開催され、個々の似顔絵や利用者全員で協力して作成した貼り絵を展示会に出品した。

コスモス学園松田センター

1. 事業内容 就労継続支援 B 型

2. 利用者在籍状況 定員 22 名

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
男	20	20	20	20	20	20	20	21	20	20	20	20	241
女	8	8	8	8	8	8	8	8	7	7	7	7	92
計	28	28	28	28	28	28	28	29	27	27	27	27	333
退所									1				1
入所								2					2

3. 平均利用率・累計利用人数

(1) 令和 3 年度 109.5% 6,317 名

(2) 令和 4 年度 108.7% 6,288 名

4. 工賃実績

(1) 平均工賃月額 14,220 円 (前年度 14,627 円)

(2) 平均工賃時給 189 円 (前年度 200 円)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
対象	28	27	28	27	27	27	26	26	27	26	26	26	321
総額	365,810	381,680	379,410	394,600	366,210	344,270	326,400	360,730	351,980	326,570	305,730	661,100	4,564,490
日数	543	546	559	547	516	515	554	534	502	462	473	537	6,288
時間	2,143	2,153	2,206	2,052	2,011	1,899	2,071	2,085	1,862	1,780	1,752	2,066	24,080

5. 日中活動

(1) 奉仕活動（公益活動）

月 2 回、川沿いや新松田駅付近で美化活動（ごみ拾い）を行い、地域の方との交流も定着し、声をかけてもらうことが多かった。

(2) 廃品回収（公益活動）

古紙、段ボール、アルミ缶、スチール缶等を法人内事業所、保護者に呼びかけて回収を行った。月 1 回、松田町指定の再生資源回収業者が回収した。

(3) 歩行

健康診断の結果や筋力維持の目的がある利用者は、ご家庭と話し合い個別に時間を設定して行った。作業の合間に行うことで気分転換もできていた。

(4) フリープログラム

作業の進捗状況に余裕がある時に YouTube、DVD 鑑賞時間を設定し、気分転換をすることができた。

今年度、ちいきふくし博が開催され、作業の合間に個々で作品製作を行い、作品展示に参加した。

6. 就労活動

(1) コピー機部品の分解(リサイクル)・検査

Y社の受注が減り、作業量も少なくなっているが、納期が延びたことで、作業に携わる利用者が増えた。

(2) プラスチック製品の検査・計量

中沼ジョブセンターと連携を取り、様々な作業に取り組むことができた。前年度、梱包数のミスがあったため、今年度は計量器を2つ使用して、計量作業をダブルチェックすることで、ミスなく取り組むことができた。

(3) 重機部品の組付け・検査

Z社の受注は減った。細かい製品が多いため、利用者が手先を使った作業を中心に取り組むことができた。

(4) クリーニングされたタオルの選別、折り込み作業

毎日、複数の利用者が継続して取り組めた。繰り返し折り込み作業をすることで、自宅でも洗濯物をたためるようになった利用者もいる。先方の都合で12月に作業が終了となった。

(5) 自動車部品のリサイクル加工

A T社からの受注は新型コロナウイルスの影響で減少している。月平均2万個程注文があり、納期が不規則だったため、納期に間に合うように取り組めた。

(6) 広報誌の丁合作業

株式会社あおぞらポストから月末に4000部の丁合作業の受注があり、中沼ジョブセンターと連携を取りながら、納期に間に合うように取り組んだ。

(7) 清掃活動

就労継続支援B型棟の清掃を行った。トイレや廊下、作業室を掃除機、モップで丁寧に行った。今年度も新型コロナウイルス感染予防で手すりや手が触れる場所のアルコール消毒は徹底して行えた。

(8) 施設外就労

A Y社のメール仕分け作業を継続して行った。現地従業員と連携を取り、機械を使った入力なども任せられるようになった。ブルーベリー摘み取り作業は新型コロナウイルス影響で今年度も行わなかった。

A N社の草刈り作業は今年度依頼はなかった。

株式会社ヒノデでの作業では、内職作業中心に常時3名の利用者が継続して取り組んだ。

(9) 自主生産品作成

新型コロナウイルスの影響でバザーはなかったが、新松田駅前のコスモス館、松田町のハーブガーデンに縫物製品の雑巾を販売した。

(10) その他

中沼ジョブセンターと連携して、共同受注作業で輸出用の富士山消しゴムのシール貼り、教材の箱折りに取り組んだ。指定された作業手順通り行うことができ、複数の利用者が携われた。施設外就労に取り組む利用者を増員するため、施設外就労先のルール、手順の確認をピックアップした利用者と一緒にいった。

令和4年度の目標工賃（時給）は220円だったが、新型コロナウイルスの影響で、作業の受注量も減少し、平均工賃（時給）は189円となった。

7. 余暇活動（共通）

(1) 生活介護レクリエーション

9月16日（金）事業所内でミニ運動会を行い、パン食い、借り物競争、ティータイムを行った。2チームに分かれて競技に参加した。

2月17日（金）事業所内で映画鑑賞、模擬店を行った。両日とも新型コロナウイルス感染対策を徹底していった。

(2) 就労継続支援B型レクリエーション

9月16日（金）2グループに分かれて、事業所内でミニ運動会、パン食い、借り物競争、ボーリング、丹沢湖への外出を行った。

2月17日（金）3グループに分かれて、DVD鑑賞、製作（キーホルダー作り）、大井町のビオトピアへの外出を行った。

(3) 生活介護バス旅行

新型コロナウイルスの影響で中止となった。

(4) 就労継続支援B型バス研修旅行

新型コロナウイルスの影響で中止となった。

(5) クリスマス会

12月16日（金）新型コロナウイルスの影響で就労継続支援B型、生活介護に分かれていった。職員出し物や利用者発表など少人数で楽しく取り組めた。

(6) クラブ活動

ドライブクラブ、音楽クラブ、運動クラブ、クラフトクラブの4つのクラブに分かれて月1回土曜日の午後を余暇で楽しんだ。

8. 職員研修（共通）

- (1) 6月10日(土) 正職員で研修を行い、「職員のメンタルヘルスについて」の研修を行った。

研修では、ストレスに気づくことや困った時は自分から相談するなど、いろいろな視点からメンタルヘルス、セルフケアの重要性を学んだ。自分に合ったストレス解消法を見つけることや嫌な気持ちをため込めないことがメンタル不全に陥らないことだと話があった。

- (2) 2月23日(木) 正職員、パート職員で研修を行った。

午前の部では、安全運転講習を行い、法人内で起きた過去の事故についての解説、ドライブレコーダー映像による危険予知トレーニング、事例検討を行った。

研修では、当法人の重要な事故は少ないが、介護保険施設で車いす利用者が死亡した事例もあるため、再度、送迎のあり方について見直しや改善の余地はあるのではないかと話があった。事業所ごとで送迎ルートや運転する公用車、業務の違いがあるため、「目配り」「気配り」「思いやり」を心がけていく。

午後の部では、アンガーマネジメント研修を行い、アイスブレイク、怒ることがおよぼす影響、怒りの予防、グループディスカッションを行った。

研修では、利用者支援、管理業務を含めて怒りがもたらす不利益な影響について説明があった。衝動、思考、行動の3つのコントロールでは、感じ方、受け取り方を変えることでストレスケアの対策や個人や組織として怒りに対するケアができる職場環境を構築していきたい。

9. 事業所運営(共通)

- (1) 虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会を他事業所と連携して行った。自己チェックリスト、メンタルチェックリスト、職場環境・業務に関するアンケートを実施し、虐待防止・人権擁護の徹底を図った。
- (2) 防犯、防災対策として災害時事業継続計画(BCP)を更新し、有事の際の対応を周知した。
- (3) 生活介護棟の屋根塗装を家主にお願いし、修繕工事を施工していただいた。

10. 令和4年度活動スケジュール

- (1) 地域の行事等は、新型コロナウイルスの影響で開催はなかった。
- (2) ちいきふくし博は開催したため、作品展示や事業所紹介に参加した。

11. 支援他

- (1) 個別支援計画面談を10月、3月に実施した。※電話面談を行った。
- (2) 松田センター・あすなろ合同会議を毎月1回実施した。
- (3) 生活介護・就労継続支援B型部署会議は月1回実施した。

- (4) 工賃会議を7月、12月に実施した。
- (5) 医療ケア会議は月1回実施した。
- (6) ストレッチ研修は新型コロナウイルスの影響で実施できなかった。
- (7) 利用者健診
 - ・健康診断を年1回実施した。
 - ・内科検診を年2回実施した。
 - ・歯科検診を年1回実施した。
 - ・インフルエンザ予防接種を11月に実施した。
- (8) 避難訓練は6月に実施した。
- (9) 喀痰吸引研修は実施しなかった。

8. 相談支援事業所あすなろ

1. 事業内容 特定相談支援・指定障害児相談支援

2. 市町村別登録者数（令和5年3月31日時点）

市 町 村	人 数	市 町 村	人 数
小田原市	29	山北町	4
南足柄市	44	箱根町	1
大井町	18 (2)	秦野市	17
開成町	13 (3)	藤沢市	2
中井町	1	横須賀市	1
松田町	27 (4)		
		合 計	157 (9)

※ () は障害児相談利用者数。

3. 活動内容

(1) サービス等利用計画の作成

① 相談者の個性や環境に適した利用計画を立てる。

相談者の取り巻く環境の変化に応じてサービスの追加、支給量の調整を図った。また、利用開始が円滑に進むよう事業所紹介、見学同行を実施した。

② 相談者の意思決定が適切に行われるよう情報提供、体験機会を作り、意思を尊重した利用計画を立てる。

権利擁護の観点に基づいて、本人の言葉や思いを汲み取った支援計画を作成した。必要に応じて意思確認をする場を設け、支援関係者と情報共有を図った。

③ 相談者の強みに着目し、相談者の力が生かされるよう利用計画を立てる。

本人の興味や関心などから活動参加の意欲を引き出し、本来持っている能力を発揮できるよう、担当者会議の実施、事業所との連携を図った。

(2) モニタリング

① 厚生労働省の定める期間ごとの他、必要に応じて行う。

相談者の状況に応じた面談や電話対応での聞き取りを行った。

② 本人、家庭、事業所等の連絡を継続的に行う

通所事業所、訪問系サービス事業所等と連携を取り、相談者の状況確認をし、支援機関や家族、本人に継続的な働きかけを行った。

③ 必要に応じて計画変更、もしくは福祉サービス事業所や関係機関との連絡調整に努める。

本人、家族、支援提供事業所からの情報提供、サービス調整、会議設定を円

滑に実施することができた。

(3) 地域における社会資源の活用

① 行政機関、福祉事業所、医療機関、他の相談支援事業所との連携を深める。

障害福祉事業所のみならず、行政のケースワーカーや介護保険のケアマネージャー、病院の地域連携室など広く地域の関係機関と連絡を取り、本人に必要な社会資源の調整を行った。多職種が関わるケースでは定期的な担当者会議を行って情報共有した。

また、7月に足柄上地域に設置されたあしがら成年後見センターが主催する会議やケース検討会に参加し、成年後見制度の活用、利用促進等の連携を図った。

② 相談支援事業のネットワークに参加

県西障害保健福祉圏域地域生活ナビゲーションセンター、小田原市基幹相談支援センターなどの相談支援に関わる研修に参加した。また、足柄上地区地域自立支援協議会相談支援部会の会議や茶話会などの参加を通じて相談支援事業所間での地域情報の共有を図った。

③ 足柄上地域の地域生活支援拠点事業の開始に伴い、スムーズな連携がとれるように必要な会議、打ち合わせに参加し、情報収集や関係を築いていく。

相談支援連絡会等の地域の会議への出席を通じて、関係機関担当者から地域生活支援拠点事業等の動向について情報収集を行った。

④ 地域づくりの協議会、会議に参加し、障害者の地域生活を支えられる地域づくりを進めていく。

介護保険関係者、医療職の参加する専門職会議やあしがら成年後見センター主催の相談支援事業所等権利擁護協議会において障害分野の専門職として参加をした。

また、足柄上地域における基幹相談支援センター設置に向けた足柄上地区地域自立支援協議会相談支援部会のワーキンググループに参加し、地域にあった基幹相談支援センターについて検討をした。

4. 職員研修

(1) 各種団体が開催する相談支援関係の研修に参加する

加算取得に向けて参加予定だった医ケア児等コーディネーター養成研修については申し込みができなかった。次年度に研修参加をしていきたい。

(2) 法人内の研修に積極的に参加する

法人実施の職員研修に参加をした。

(3) リーダーシップ研修に参加する(リーダー層対象、法人内、各種団体)

リーダーシップ研修に該当する研修参加はなかったが事例検討会などの研修活動に複数職員での参加を呼び掛けて参加をした。

(4) 新たな相談支援専門員の育成のため、法人内事業所職員に広く相談支援に関わる研修への参加を呼びかけていく。

職員の異動に伴い、新たに配置された職員が相談支援専門員初任者研修を受講して資格を取得した。また、資格取得後に OJT を行い、資質向上を図った。

5. 事業所運営

(1) 研修等を通じて計画作成におけるプロセス等の質の向上・充実に努める

県西障害保健福祉圏域地域生活ナビゲーションセンター、小田原市基幹相談支援センターなどの相談支援に関わる研修に参加し、相談支援の質の充実・向上を図った。

(2) 法令の遵守(理解)を徹底する。

支給決定のプロセスや受給要件などの確認を行い、適正なサービス受給を受けられるよう行政、関係機関と確認、協議を行った。

(3) 日程調整、書類作成等のプロセスを常に見直しサービスの効率化を進める。

事業所内での定期的な会議を行い、進捗確認、日程調整を実施し、効率化が図れた。

(4) 経費削減を徹底する。

面談、書類提出、法人本部への事務処理など効率よく業務遂行ができるようにした。

(5) 報酬改定に合わせた加算取得を進めていく。

要医療児者支援体制加算の取得申請を目標にしていたが要件が満たせなかったもので次年度取得を目指したい。

(6) 感染症対策を踏まえた柔軟な面談方法の確立、実施を進める。

直接対面での面談、電話での面談など本人やご家族の希望を踏まえつつ、感染症のまん延状況に合わせて柔軟な対応を行った。また、対面での面談時には感染予防として検温、消毒、換気などの環境を整備して相談者、面接者ともに安心して面談に望めるようにした。

6. その他

(1) あすなろ登録者の計画相談、モニタリング面談を随時実施した。

(2) 松田センター・あすなろでの毎朝の打ち合わせを行い、連携強化を進めた。

(3) あすなろ部署会議を毎月1回実施した。

9. コスモスホーム

1. 事業内容 共同生活援助(介護サービス包括型)
短期入所(空床利用型)

2. 利用者在籍状況 定員30名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ひだまり	142	149	147	147	153	144	140	134	147	105	130	149	1,687
やまびこ	322	328	328	322	337	321	319	321	334	301	299	335	3,867
こもれび	295	299	291	306	303	292	305	294	300	273	251	290	3,499
合計	759	776	766	775	793	757	764	749	781	679	680	774	9,053
退居													
入居													

3. 平均利用率

- (1) 令和3年度 83.9%
(2) 令和4年度 82.7%

4. 地域行事

開催日	行事名	場所
6月19日	市・美化デー	中沼公民館・コスモスホーム周辺
9月4日	市・中沼自主防災訓練	中沼公民館(新型コロナウイルスのため中止)
11月5日	日向自治会文化祭	作品展示
11月6日	中沼自治会文化祭	中沼公民館(新型コロナウイルスのため中止)

5. 支援内容

(1) 障害者の地域生活・地域移行について

前年度に続き新型コロナウイルスに左右される中、利用者の状態に応じ、自主性を保ち、一人ひとりの「ふつうに暮らす」を支援できるよう行政、医療、専門機関、日中事業所等と連絡調整を行っている。コスモスホーム会議、クルー会議、また現場において職員への技術指導および助言を行い、利用者の人格に十分に配慮しながら統一した支援を提供した。

(2) 日常生活能力の維持・向上

- ① 利用者の障害特性を踏まえ、能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう「各自のできることを増やしていこう。」を継続目標とした。

ア やまびこ・こもれび

食器洗い、洗濯、布団干し、窓拭き等々、個々に進んでできるようになってきている。月のメンバー会議は前年度に続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、毎月書面にてコロナ禍における暮らし方を改めて伝えている。

イ ひだまり

昼薬、資料や段ボールを法人内の日中事業所に届けることを継続して行った。

② 服薬管理・金銭管理

服薬管理対象者 20 名（令和 3 年度 18 名・令和 2 年度 18 名）、塗布薬および季節等の配薬を含めると 25 名（令和 3 年度 24 名・令和 2 年度 22 名）であった。

金銭管理対象者 21 名（令和 3 年度 21 名・令和 2 年度 19 名）については利用者預り金規程に則り不備のないよう実施した。

③ 生活相談

ア 人間関係

例年同様に人間関係についての相談が多かった。人間関係については自分で解決できるよう支援している。自分で解決が困難な場合は溜め込まず職員に相談したり、相談支援事業所など関係機関も利用して、解決につなげるよう支援している。安定した人間関係を維持できるよう支援を継続中である。

イ 体調面

前年度に続き、身体の重度化・高齢化などに付随する内容の相談が多かった。関係機関（医療、行政、相談支援等）との連携がさらに求められている。また、間食等管理対象者 1 名（令和 3 年度 1 名・令和 2 年度 1 名）の支援を行うことで、体調面、メンタル面の安定と作業意欲向上につながっている。

（3）本人の望むサービスの提供

本人の意向を尊重し、モニタリングの実施でニーズを引き出し、支援計画の作成と見直しを行い心身の状況、その環境に応じて自立に向けた支援が提供できるよう取り組んだ。

（4）日中支援

心身の不良等により予定した日中活動サービスを利用できなくなった利用者や就労先欠勤の利用者に対する昼食提供や様子観察、通院同行等、関係機関への連絡調整は、法人内の日中事業所、居宅介護事業所との連携により十分な対応ができた。

前年度に続き、新型コロナウイルスの感染者が出たことにより、利用者がコスモスホーム内で隔離された期間は法人内の職員の応援により危機を乗り切ることができた。

（5）通院同行

12 名の定期通院 146 件と 15 名の緊急・臨時通院 59 件（令和 3 年度 9 名の定期通院 101 件と 14 名の緊急・臨時通院 58 件）を実施し、利用者の健康増進、維持

に努めた。全体的に利用者が複数の定期通院や緊急通院の頻度が増えているため定期通院については法人内の居宅介護事業所の通院等介助の利用が増えている。定期通院については、利用者の高齢化等に伴い、さらに増えることが想定されるため、対応職員の確保が必要となる。

(6) 地域活動

新型コロナウイルスの影響により、地域行事については大半が中止となったが、6月に実施した市の美化デー(清掃活動)には4名の利用者がコスモスホーム周辺の側溝の清掃などに参加することができた。継続して定期的に自治会などの関係機関と連絡を取り、次年度以降の活動につなげるようにしている。

(7) 余暇活動

前年度に続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集団での外出活動は控えて製作活動等にとどめている。個別での活動は積極的に再開して、個々の買い物や外食(昼食)の機会の調整等を行い、個々のニーズに合わせた活動を提供した。移動支援など外部機関を活用した活動も継続している。

「県西地区グループホーム交流会」は前年度に続き新型コロナウイルスの影響により中止となった。外部行事についてもすべて中止となり(みんなのつどい、県西地区障害者文化事業、ワクワクのりのりコンサート)、ホーム行事の「バーベキュー大会」「忘年会」に関しては前年度同様に密を避ける方法に切り替えて実施した。

6. 職員研修

前年度に続き新型コロナウイルスの影響により研修が大幅に減少した中、オンラインなども活用し、利用者支援の質的向上、安定した事業所運営の維持を目的に令和4年度は下記の研修に参加した。

6月 8日	神奈川県指定障害福祉サービス事業者に対する指導講習会
6月 11日(26日)	法人内事業所職員研修 「職員のメンタルヘルスについて」
8月 24日	令和4年度第1回足柄上地区地域自立支援協議会 地域生活支援部会(ZOOM)
11月 6日、11月 19日	喀痰吸引第3号(特定の者)研修 *2名参加
12月 9日	相談支援事業所等権利擁護協議会(ZOOM)
12月 14日	令和4年度第2回足柄上地区地域自立支援協議会 地域生活支援部会(ZOOM)
2月 23日	法人内職員研修 「安全運転講習」「アンガーマネジメント研修」

7. 事業所運営

- (1) 利用率については前年度より微減となった(1.2%減)、こもれば2階の1室が空室となっている。
- (2) コロナ禍の中で、喀痰吸引研修など一般職員が利用者支援に関する研修に参加できたことは、サービスの質の向上につながった。
- (3) 虐待防止・身体拘束適正化委員会にはリーダー層が定期的に出席して、内容を事業所職員に周知して、自己チェックリスト、メンタルチェックリスト、職場環境・業務に関するアンケートを実施し、虐待防止、人権擁護の徹底を図った。
- (4) 災害・感染症対策委員会にて感染症の発生、蔓延の防止に努めたが、4回新型コロナウイルスの感染者(利用者8名、職員4名)が発生した。
- (5) 感染終息後も職員の一定期間のN95マスク着用、3密の回避、自室での食事、定期的な手洗い、手指の消毒の徹底、定期的な館内消毒を継続して感染症対策に努めた。
- (5) 防犯対策については、引き続き各棟ごと施錠の徹底を行った。
- (6) 事業所設備管理
 - ① 備品、消耗品増に伴い、4月16日にひだまり棟とこもれば棟の間のスペースに大型の物置を設置した。備品、消耗品などの管理場所として有効に機能している。
 - ② 5月29日に火災報知器劣化による誤作動があり、一部機器の入替を実施した。この誤作動は深夜に発生して、近隣住民に対して多大な迷惑をかけたことから後日隣接するすべての民家への謝罪と、自治会を通じて回覧板にて書面で謝罪している。
 - ③ 6月27日に老朽化したひだまり棟の機械浴設備の入替を実施した。
- (7) 法人内事業所との連携については、通常の勤務体制の協力依頼の他、利用者の個別に対するニーズが高まっていることから(通院対応、余暇支援対応等)、さらに連携を深めた対応が求められる。
- (8) 総合防災訓練
 - ① 12月17日に火災想定として通報訓練、避難訓練、消火訓練を実施した。
 - ② 3月25日に地震想定として避難訓練、消火訓練を実施した。

災害対策については、災害時事業継続計画(BCP)のもと、今後地域との連携が必要不可欠となるため、地域の訓練への参加や、事業所の訓練への参加方法などが課題となった。

8. 支援他

利用者の課題を共有し、本人、保護者の意向を汲み取り適切な支援を実施するため、コスモスホーム会議12回(月末の日曜日)、クルー会議12回(月末の水曜日)、メンバー会議12回(新型コロナウイルス感染予防のため前年度同様、書面のみ会議)、個別支援

計画作成のための面談を3回実施した。

9. 短期入所事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急性の高い場合については受入を実施した。今年度の新規契約については2名、利用総数については155名（令和3年度17名）となった。短期入所利用の要望は高いが、新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、どのように事業を継続していくかが課題となった。